

2006年9月7日  
日立ソフト

### 日立ソフトが、通信事業者向け収入診断ソリューション「SARAS」を販売開始 ～料金収益損失の解消・軽減を実現～

日立ソフト(代表執行役 執行役社長 小野功、本社:東京都品川区)は、Subex Azure Limited(CEO: Subash Menon、本社: インド バンガロール、以下 Subex Azure 社)と、同社の通信事業者向け収入診断ソリューション「SARAS」(Subex Azure Revenue Assurance System) : サラス の日本国内独占販売権を含む戦略パートナー契約を締結しました。

海外では通信事業者の料金系基幹システムにおいて、運用ミスによる誤設定、マルチベンダにより構築されたシステム間不整合、事業者間精算における不整合などにより収益損失や過請求などの請求ミス<sup>\*注1</sup>が発生しています。収入診断ソリューション「SARAS」は、料金系システムや通信システムに保存された情報を抽出・照合することにより、これらの不整合を発見・修正し、収益損失の解消・軽減を行います。オーストラリアの通信事業者では、「SARAS」の導入により、収益損失を 6%から 1%に軽減できたことが報告されています。日立ソフトは、Subex Azure 社の技術支援を得て、日本国内で初めて収入診断ソリューションを展開します。

注1: 海外の通信事業者の本来得られる料金収益に対する損失割合は 3% ~ 15% 『TeleManagement Forum』発表

日立ソフトは、日本国内での通信事業者の料金系基幹システム構築経験および「SARAS」の不整合発見のノウハウを活用し、「SARAS」を中心として以下のソリューションを展開していきます。

- (1) 通信システムの形態に関わらず、システム間のデータ不整合の検出・分析による原因の特定を行い、お客様の収益損失を削減します。
- (2) 通信事業者の業務をチェックするための内部統制の維持/強化し続ける仕組みを提供し、日本版 SOX 法への対応を支援します。

当初日立ソフトでは、パッケージを利用してお客様ごとのシステム構築を行っていきます。また、2007年度より、インターネットサービスプロバイダやケーブルテレビ事業者に対し ASP<sup>\*注2</sup>で本サービスを提供することを計画しています。パッケージ価格は 1 億 5000 万円からで、パッケージの導入、お客様ごとのシステム向けのカスタマイズ、ASP によるサービス提供を含め、今後 3 年間で 40 億円の売上を見込んでいます。

注2: ASP(Application Service Provider): インターネットを介して業務ソフトなどのアプリケーションを利用できるサービス、またはサービス事業者の総称。ユーザはパソコンなどインターネットにアクセスできる環境があれば ASP サービスを利用することができる。

### < Subex Azure 社について >

Subex Azure 社は、テレコム事業者向け収入最大化ソリューションにおける世界最大のベンダーであり、「収入基盤環境（ROC）」の戦略的構想の先駆者でもあります。ROC とは、企業の収益に関わる全てのシステムにわたる整合性の監視、統制、保証を行う統合された運用基盤で、Subex Azure 社の RevMax (tm) は、ROC を進めるための業界トップクラスのソフトウェアソリューションシリーズです。

Subex Azure 社は不正利用防止（Fraud Management）と収入診断（Revenue Assurance）の分野では世界第一位、また相互接続課金および企業グループ間課金ソリューションでは世界第二位の企業です。世界最大のテレコム事業者 40 社のうち 23 社を顧客に持つ同社は、60 カ国以上にわたり、150 を超える顧客にソリューションを提供しています。

また、ロンドン、コロラド州デンバー、インドのバンガロール、北京に事業所を擁しています。

### < SARAS について >

Subex Azure Revenue Assurance System(SARAS)は、企業の収益に関わる全てのシステムにわたる収入診断の課題を解決する世界初の収入診断（RA）ソリューションです。SARAS は、無線、固定、ケーブルを含む MSP<sup>注3</sup> や MVNO<sup>注4</sup> などのサービス提供事業者に固有の収入診断課題に対処するソリューションテンプレートを提供します。このソリューションテンプレートは、サービス提供、サービス使用の整合性、小口課金、相互接続および大口課金、コンテンツ決済などの複数の分野にまたがる収入診断を実現します。

注3 . Management Services Provider : 企業が保有するサーバやネットワークの運用・監視・保守などを請け負う事業者のこと

注4 . Mobile Virtual Network Operator : 携帯電話などの無線通信インフラを他社から借り受けてサービスを提供している事業者のこと。

### < 主な特長 >

#### （1）全ての通信システムに対応

- 交換機の機種に依存しないインターフェースを提供します。
- 分析/検出対象となるサブシステムを自由に選択することができます。

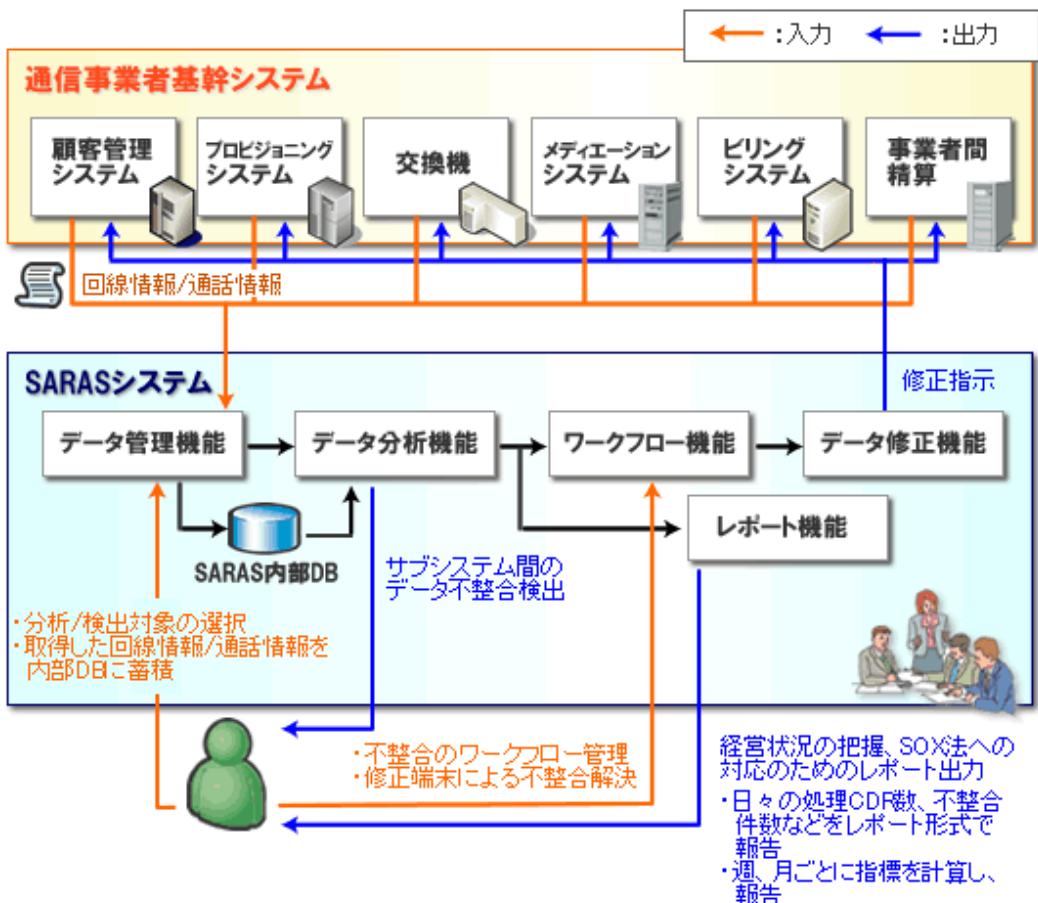
#### （2）短期間で構築可能

- 柔軟なシステム設計のため、お客様のサービス拡充、新料金システムにスピーディに対応します。

#### （3）優れたユーザインターフェース

- Windows ベースのグラフィカルユーザインターフェースを提供します。

### < 製品概要図 >



### < 機能概要 >

機能	機能概要
データ管理機能	・ 料金系システムや通信システムを構成するサブシステムからデータを取得します。
データ分析機能	・ 各サブシステムから取得したデータ間の不整合を検出します。
レポート機能	・ 日々の処理CDR(通話記録)数、不整合件数などをレポート形式で報告します。 ・ 週、月ごとに指標を計算し、報告します。
ワークフロー機能	・ 発見された不整合をワークフロー管理し、解決に導きます。
データ修正機能	・ 料金系システムや通信システムを構成するサブシステムに修正を指示します。

### < 稼働環境 >

#### サーバ

OS	Windows、Unix (HP-UX、Solaris、Linux)
データベース	Microsoft SQL Server、Oracle

#### クライアント

OS	Windows
----	---------

- \* 日立ソフトの正式名称は、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社です。
- \* Windows は、マイクロソフト社の登録商標です。
- \* Unix は、X/Open Company Ltd.の登録商標です。
- \* Oracle は、オラクル・インターナショナル社の登録商標です。
- \* その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 CSR 本部広報 IR 部 竹橋、高野

Tel: 03-5780-6450 e-mail: [press@hitachisoft.jp](mailto:press@hitachisoft.jp)